

## 事業者向け 児童発達支援自己評価表 集計結果

通所支援事業所 すまいるⅡ  
令和3年1月実施／有効回答4件

### ◇環境・体制整備について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・コロナ禍においては狭く感じる。
②	職員の配置数は適切であるか	4			・配置数は適切であるが、10月より職員を増員し、支援をしている。
③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			・トイレの手すり、玄関のスロープが設置してある。 ・玄関の段差を歩きやすくするためにスロープの設置をした。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	4			・コロナウイルス予防対応策も考慮して、こまめに消毒、換気を行い、清潔に過ごせるように心がけている。

#### 【今後の対応として】

- ② 規定の職員数を配置しているが、10月より職員を増員してより良い支援を心がけている。
- ③ 写真や絵カードを使用し、私物、遊具の配置が理解出来るように配慮している。児童により、活動等参加や理解が難しい時には、環境を変えてスムーズに出来るよう日々模索しながら行っている。トイレには手すり、狭い玄関でも対応出来るように取り外し可能なスロープを設置して、バリアフリーの環境作りに配慮した。

### ◇業務改善について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・評価表により、改善すべき点としてバリアフリー化について検討し、トイレの手すりや玄関のスロープを設置した。
⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2		
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			

#### 【今後の対応として】

- ⑥⑦ 毎年実施し、業務改善に向けて話し合う機会を設けている。結果を各家庭に配布し、法人のホームページ

ジに公開している。

⑧ 現在は予算の都合上、考えていない。

⑨ 職員の資質向上のため、心理師による研修に加え、全職員が情報共有出来るように、伝達講習やDVD視聴の場も多く設けていく。

#### ◇適切な支援の提供について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			・ Vineland II の使用
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			・ 標準化されたアセスメントツールとして Vineland-II の項目を取り入れ、日々の支援に役立てている。 ・ Vineland II の使用。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	4			
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
⑮	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4			
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			・ 毎月一人一人の状況を把握し、個別、集団活動内容を支援会議で話し合い、計画を立てている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・ 支援終了後に必ず振り返りを行い、職員間で情報共有している。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			

#### 【今後の対応として】

⑩ 標準化されたアセスメントツールとして、vineland II の項目を使用し、支援計画を作成している。

⑮ 児童の安定のためにも、固定化されたプログラムを基本に、季節を感じられる物、個々に応じた環境設定、個別課題を検討し、楽しみながら取り組めるように工夫している。

⑯ 個別課題では職員と静かな環境で学び、集団ではお友達との触れ合いを楽しめるように課題を設定して行っている。

⑰⑱ 支援開始前、終了後の打ち合わせと振り返りは出来ているので、今後も継続していく。

#### ◇関係機関や保護者との連携について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		
⑱	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		
⑲	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		
⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3		
㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2		
㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2		・コロナ感染予防対策として他の施設への訪問を控えているため出来ていないのが現状である。
㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1		・参加し、会議内容を職員に周知している。
㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時に体調面やその日の様子を伝える時間を設け、情報共有出来るように心がけている。
㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3		

#### 【今後の対応として】

⑳ お互いに施設見学を行ったり、担当者会議を開催したりしながら、情報交換が出来る環境作りに努めている。

㉑ 昨年より、安達管内の支援事業所と情報交換の場を設け連携の体制を整えている。コロナウイルス感染の状況を見て継続していく方向である。

㉒ コロナウイルス感染予防策のため室内空間が密になることを考慮し、ソーシャルスキルの取れる戸外遊びで、触れ合う事は出来ていた。

- ㊸ すまいるは教育支援部会、すまいるⅡは子ども支援部会に参加し、会議内容を全職員に報告している。
- ㊹ ペアレント・トレーニングの研修には参加しているが、支援は行っていない。今年度は法人主催で研修の場を提供する事を念頭に置いている。

#### ◇保護者への説明責任等について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
㊺	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
㊻	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			
㊼	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・保護者からの相談にはじっくり話す時間は持つように心がけている。
㊽	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・コロナウイルス感染予防策として今年度は行う事が出来なかった。
㊾	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
㊿	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
㊸	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4			
㊹	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
㊺	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3		

#### 【今後の対応について】

- ㊺ 契約時に説明し、資料の配付を行っているが、更に利用者負担について詳細を説明する予定である。
- ㊼ 帰りのお迎えのときやモニタリング時に保護者の相談を受けたりしている。今後も少しでもお役に立てるようにしていきたい。
- ㊽ 今年度は、コロナウイルス感染予防のため中止であったが、毎年保護者会を開催している。父母の会も検討中である。
- ㊿ 毎月通信を発行し、活動内容を伝える事を継続しながら、より療育活動内容を詳細に伝える形を検討していきたい。

- ④① 今年度はコロナウイルス感染予防のため、中止となったが、ボランティアの受け入れや、法人主催のイベントにて事業所を紹介する場を設けている。クリスマスにはフルート演奏者を招いて生演奏を聴く機会を体験出来た。

#### ◇非常時等の対応について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			
④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4			
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			事例集を作成し、毎月の職員会議にて振り返り、情報共有している。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			支援計画に記載し、モニタリングにて保護者に説明をしている。

#### 【今後の対応として】

- ④① 緊急時対応マニュアルは契約時に資料を配付している。また、今年度も災害伝言ダイヤルへの再生体験を行った。
- ④② 定期的な避難訓練は継続し、新たに防犯訓練にも対応出来るようにしていきたい。
- ④⑤ 毎月、職員会議時に振り返りを行い、情報共有と共に改善出来るように話し合っている。
- ④⑥ 虐待防止研修に参加し、伝達講習として議題を取り上げ、職員間で情報共有する機会を設けている。
- ④⑦ モニタリング時に保護者の方に説明を行い、支援計画に記載している。